

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

| | | | | | | | | |
|---------|------|--|----------------|---|--|--|------|-------|
| 事務事業名 | | 経営構造対策推進事業（担い手育成緊急地域） | | | <input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 6 | 産業の健幸 | | 所属部 | 産業振興部 | 課長名 | 坂本 卓博 |
| | 施策 | 23 | 農業の振興 | | 所属課 | 農政課 | 担当者名 | 菊池 勇陽 |
| | 業務分野 | 67 | 生産基盤の確保と経営力の強化 | | 所属班 | 農地整備班 | (内線) | 5226 |
| 予算科目 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業連番 | 法根拠 | |
| | | 一般 | 6 | 1 | 13 | 10267 | | |
| 終了、開始年度 | | <input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始 | | | 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 18 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（～ 年度） | | |

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

| | |
|---|--|
| 【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域改善対策事業等で建設された畜舎、農機具管理施設、ガラスハウス、農産物加工施設等の維持管理及び営農指導。 ・1969年に国会で成立した同和对策事業特別措置法により、2002年に終結するまで33年間継続された。 ・根拠法令は失効しているが、施設の維持管理や営農支援は引き続き行っている。 ・施設については、地元組合に無償譲渡をする方向で検討をしていく。 ・地元組合員を対象に全地区（7箇所）で無償譲渡についての説明会を開催。 ・R4年度より、目的外使用による施設の明け渡し訴訟を1箇所行っている。 |
| 【業務の流れ】 | <ul style="list-style-type: none"> ・各施設敷地の土地借上げ料の支払い事務 ・施設の無償譲渡について地元への説明及び意見交換会の実施 ・施設の明け渡し訴訟に関する事務 |
| 【主な予算費目】 | <ul style="list-style-type: none"> ・6-1-13-13 使用料及び賃借料 ・平成27年度より、自然災害以外の修繕については、地元負担をお願いをしている。平成28年度より予算計上なし。 ・6-1-13-12 委託料（R4年度より） |

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

- ・4件の施設敷地の土地借上げ契約及び支払いを行った。
 - ・施設の地元との意見交換会を行った。
 - ・施設の明け渡し訴訟に係る控訴審口頭弁論手続きを行った。
- 【基準に達しなかった理由】 予定していた年度内結審とならず、強制執行に係る費用及び予納金の支出に至らなかったため。

②7年度計画（次年度に計画している主な内容）

- ・土地借上料の支出事務。
- ・施設の地元への無償譲渡について、地元との意見交換を行なう。

③予算の主な増減の理由

施設明け渡し請求訴訟に伴う弁護士成功報酬委託料の減

成果指標

ア 施設敷地借上料の支払い件数

(単位)

件

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

| 成果指標 | 単位 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 |
|------|----------|--------|--------|----------|--------|----------|-----|-----|------|
| | | 実績(決算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | 予定 | 見込 | 見込 |
| ア | 件 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | 都道府県支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | 地方債 | 千円 | | | | | | | |
| | その他 | 千円 | | | | | | | |
| | 繰入金 | 千円 | | | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 100 | 396 | 4,382 | 395 | 50 | 50 | 50 |
| | (A) 事業費計 | 千円 | 100 | 396 | 4,382 | 395 | 50 | 50 | 50 |

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

受益者との意見交換会を実施し、また、定期的に施設の見回り等を行う事により、受益者が使用する施設の適正な維持管理が図れた。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）